

-----4月29日-----

※ 今週のアウトルック (4/29~5/3)

先週はレジスタンスを目前に終始もみ合いの中、週末には大きく円高に転じて、終了しました。

今週は米国雇用統計の発表を週末に控え、水曜日から始まるADP雇用統計などの、前哨戦の結果を見ながら、やはりもみ合いの様相が強くなるのではないかと思います。

ただ、週末の雇用統計の結果いかんでは大きく円高、あるいは円安に動くことも十分に考えられるように思います。

ドル円の100円の壁を前に。もみ合いが続いています

今週もその傾向が強そうですが、米国雇用統計が期待を裏切るような結果だった場合には、大きく調整する可能性が強くなりそうです。

場合によっては来週にかけて、93円程度まで調整する可能性もあるかもしれません。

ドル円の予想レンジは95円から101円です。

ユーロは、ユーロドルの方向感がつかみずらくなっています。

ユーロの状況より、ドル買いの調整に影響される傾向が強くなってきています。

米国雇用統計が予想よりも弱かった場合、基本的には円高ですが、

ユーロに対してもドル売りが進めば、ユーロ円の動きは不安定なものとなりそうです。

ユーロ円の予想レンジは125円から132円です。

ポンドドルは1.54のレジスタンスをブレイクして、上昇トレンドが幾分強くなってきています。

このままドルの調整を追い風にできるような状況が続けば、ポンド円も154円のレジスタンスをブレイクできる可能性が高くなるように思います。

ポンド円の予想レンジは148円から156円です。

今週はやはり米国雇用統計を見据えた動きとなりそうですが、

GWの東京市場の薄商い時の突発的な動きには、十分に注意したいところです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。